

## 平成30年3月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成30年3月23日（金） 9時25分～ 12時15分
2. 開催場所 日野町役場203会議室
3. 出席委員 今宿綾子教育長、西村吉弘教育長職務代理者  
高橋政宏委員、山田めぐみ委員、谷 信代委員
4. 出席事務局員  
教育次長 : 高橋 正一  
学校教育課 : 参事 野瀬 薫 参事 正木 博之  
生涯学習課 : 課長 日永 伊久男  
図書館 : 館長 高浪 郁子  
子ども支援課 : 課長 宇田 達夫

高橋次長	教育長選任の議会の同意について
今宿教育長	ごあいさつ
西村委員	教育長再任に対しご祝辞
今宿教育長	<p>ただいまから、日野町教育委員会定例会議を開会します。 今日の日差しは、これから春に向っていく暖かさを感じます。 委員の皆様にはご多用の中、お集まりいただきましてありがとうございます。また、先日はご多用の中、卒業卒園式へご臨席いただきありがとうございました。</p> <p>どの学校も園も、卒業生卒園生が落ち着いて式に臨めたと聞いております。</p> <p>それではまず、日程5の議事に入り、議第1号「平成29年度末日野町立小学校および中学校の管理職人事異動の承認について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。</p>
野瀬参事	(別紙により提案説明)
今宿教育長	<p>ただ今の説明に対しまして、ご質問などございませんか。 無いようですので、議第1号「平成29年度末日野町立小学校および中学校の管理職人事異動の承認について」を承認することとします。 ここで、人事議案の審議を終えましたので、生涯学習課長、図書館長、子ども支援課長を入室させます。</p>
今宿教育長	<p>それでは、日程3に戻り再開します。前回委員会の議事録の報告については、お手元に配布の議事録のとおりであり、委員各位においてご覧いただき、異なるところがあれば事務局までご連絡をお願いします。 次に日程4の経過報告に移ります。 まず、私の方から主な経過を報告させていただきます。 3月の大きな行事としましては、卒業式、卒園式、3月議会がございました。議会の行政報告につきましては、後ほど次長から詳細を報告させて</p>

	<p>いただきますが、平成30年度の予算について多くの質問や意見が寄せられました。特に、30年度から小学校においても完全給食の実施をするにあたり、米飯代を町の公費で負担するという提案をさせていただきました。従いまして、幼稚園小学校につきまして、給食費は据え置き、中学校につきましては、300円の減額とさせていただくこととなります。</p> <p>また、中学校の部活動指導員に関してのご質問、スクールサポートスタッフについてのご質問、子どもの虫歯の取り組みについてのご質問、町民大学の講師の人選についてのご質問、現在工事中の日野中学校のグランド改修工事についてのご質問、日野小学校の給食室の改修についてのご質問などが寄せられました。</p> <p>続きまして、教育次長から行政報告をさせていただきます。</p> <p>(行政報告)</p>
今宿教育長	<p>ただいまの行政報告について、ご質問などございませんか。</p>
西村委員	<p>ご報告いただきました、町議会定例会の質疑の中で、子ども達の虫歯の保有率が高いという問題につきましては、かねてより町でフッ素塗布を実施していただいています。先日のお話ですと近隣の市町で保有率が低いのが竜王町で保有率が高いのは愛荘町とうかがっていましたが、その愛荘町の次いでに高いのが日野町だとうかがっていましたが、フッ素塗布を実施して、日野町の子ども達の傾向は、改善の方向にむかっているのでしょうか。</p>
正木参事	<p>先日、西村委員様からご質問をいただき、保健センターの保健師にフッ素塗布の効果と日野町の傾向について確認をしたところ、フッ素塗布を実施してからの期間が短いので、その効果はまだ図れないとの事でした。</p>
今宿教育長	<p>続いて、各課からの報告を事務局から順次させていただきます。</p>
野瀬参事 宇田課長 日永課長 高浪館長	<p>(各課から報告)</p>
今宿教育長	<p>各課から報告させていただきましたが、ただいまの報告について、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
山田委員	<p>学校現場の働き方改革についての通知についての反響をお聞かせいただきたいのと、私のまわりでは中学校の部活動への影響が心配だという声や休みに子どもたちが街へ出るということに対する心配だという声を聞きました。子どもたちの健全育成に対する地域への協力の呼びかけも必要かと思えます。</p>
野瀬参事	<p>反響を十分に把握しているわけではありませんが、校長会や教頭会で話を伺っている中では、特にうかがっていません。子どもたちの自由な時間が増えることにつきましては、関係機関と連携し子どもたちの健全育成に努めていきたいと思えます。</p>

谷委員	移動図書館の報告がありました。必佐幼稚園だけ行かれていないのは何か理由がありますか。
高浪館長	園からのご要望を伺って行かせていただいております。今年度は園にある絵本で間に合っているという理由から要望がなかったのですが、来年度のご要望を伺っていますので、来年度は必佐幼稚園にも行かせていただきます。
今宿教育長	次に日程5の議事に入ります。「議第2号 平成30年度学校医等の委嘱について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。
高橋次長	提案説明
今宿教育長	提案説明に対してご質問などございませんか。 質問やご意見も無いようですので、「議第2号 平成30年度学校医等の委嘱について」を承認することとしてよろしいか。  (異議なし)
今宿教育長	それでは「議第2号 平成30年度学校医等の委嘱について」を承認することとします。 続いて「議題3号 公民館長の委嘱について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。
日永課長	提案説明
今宿教育長	提案説明に対してご質問などございませんか。
今宿教育長	質問やご意見も無いようですので、「議第3号 公民館長の委嘱について」を承認することとしてよろしいか。  (異議なし)
今宿教育長	それでは「議第3号 公民館長の委嘱について」を承認することとします。 次に「議題4号 日野町スポーツ推進委員の委嘱について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。
日永課長	提案説明
今宿教育長	提案説明に対してご質問などございませんか。
今宿教育長	質問やご意見も無いようですので、「議題4号 日野町スポーツ推進委員の委嘱について」を承認することとしてよろしいか。  (異議なし)
今宿教育長	それでは「議題4号 日野町スポーツ推進委員の委嘱について」を承認することとします。

	次に「議題5号 日野町図書館協議会委員の任命について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。
高浪館長	(提案説明)
今宿教育長	提案説明に対してご質問などございませんか。
今宿教育長	質問やご意見も無いようですので、「議題5号 日野町図書館協議会委員の任命について」を承認することとしてよろしいか。
	(異議なし)
今宿教育長	それでは「議題5号 日野町図書館協議会委員の任命について」を承認することとします。 次に「議題6号 日野町遠距離通学補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。
高橋次長	提案説明
今宿教育長	提案説明に対してご質問などございませんか。
高橋委員	以前にこの案をいただいておりましたので、ほかのものも含めじっくり読ませていただきました。ありがとうございました。 今、縷々説明をいただいたわけですが、遠距離通学の課題について、理屈上は確かにそうだなと思うのですが、一方、現行制度で特段支障があるのかとも思います。あるいは該当する保護者の皆さん方から、現行のものではだめですよというような強い要望などがあって、この改正案を出しておられるのでしょうか。 現行でお困りの保護者さんが多くおられ、要綱を改正して保護者負担を軽減するという内容の提案をされたのですね。その辺のお話も伺えると、私としては理解が進むと思います。
高橋次長	まず今回改正させていただきます点は、日野小学校と桜谷小学校、西大路小学校から学童保育所へ通われる児童は、朝はバスで登校しておられますが、学校が終わったら学童保育所へ行かれ、基本的に保護者の方がお迎えに来るということになっていますので、帰りはバスを使用しません。 バスの定期券を使うのは片道だけということになりますが、現状ですと往復の定期券を買っていただくため、保護者の負担で言いますと、往復の定期券を買っていただき、その2分の1を補助していますが、実際は片道しか乗車されていませんので、実際の利用に見合った補助のご要望をいただいております。今回、補助率を4分の2のところを4分の3に上げると、実質、保護者にご負担をしていただくのは4分の1ですので、片道利用の半分を負担していただくことにするための改正です。
高橋委員	私が子どもの頃にはスクールバスというのがありました。東西桜谷だけですが、その話とこれとは全くかけ離れた話ではあるのですが、保護者の方々の要望等々がある中で、今回のこういう事案につきましては、補助金交付要綱の改正ということではなく、行政の方からバス運行会社に

高橋次長	<p>お願いして、「こういう理由だから、こういう運行をお願いできませんか」というような申し出というように事ができないのかと思います。</p> <p>ご提案いただいたとおりの課題を、事務局も認識しています。</p> <p>まず1点は町営バスですけれども、現在、5台のバスで運行していますが、日野町が運行するために委託金を年間約4,500万円支出しています。その中で、主に乗っていただいているのは通学の子どもさんです。また70歳以上の方は無料乗車証を発行し乗っていただいております。</p> <p>この町営バスを、今後も維持していくためにどうしたらいいのかというのは、町として大きな課題であります。</p> <p>例えば日野小学校と桜谷小学校・西大路小学校の通学のバスだけを町営バスから切り離して、町営バスはもっと小型のワゴン車みたいなもので走るとか、そういう方法も研究していくという課題は常に持っています。</p> <p>また、町の中で交通弱者と言われる方々については、最低限の公共交通も維持していかないといけないということで、平成2年から、子どもたちの通学バスと兼ねて町営バスを維持してきました。</p> <p>ほかに選択肢があるとすれば、通学については無償にするとかいうことも当然あると思います。ただ、その分だけは町が一般財源を出すということになりますので、全体で協議していく大きな課題だと思っています。</p>
高橋委員	<p>今、4,500万円という委託金を伺いましたが、根本的にそういうものが変われば、補助金要綱を改正するとかいうこともクリアできるのかなとは思いますが、おいそれとは、予算のことがあるので難しいわけですか。</p>
高橋次長	<p>例えば1つの選択肢は、町営バスで通学バスとして使っている時に、今は料金をいただいています。それを無償にして、70歳以上と同じようにするという選択肢もあります。ただ、その分を一般財源で持たないといけないということになります。</p> <p>それともう1つは、スクールバスというのを完全に切り離すという手もあるかと思っています。どういう選択肢が町全体として可能なのか、ということは、研究していかなければいけない課題だと思っています。</p>
高橋委員	<p>子どもたちが通学するにあたって、最も大事なことの1つだと思いますけど、こういうことについて議論する場というのは、どういう場になるのですか。この場ですか。あるいは教育委員会事務局サイドが検討される場になるのですか。</p>
高橋次長	<p>どこがということはないと思います。町は町として、町営バスの運行に4,500万円～5,000万円というお金をかけて、それと費用対効果がどうなるかということは研究していかないといけないと思いますし、学校の運営としては、子どもたちの就学保障をどうするかということで研究していかないといけないと思いますので、当然、教育委員会の中でも協議していただくことが必要だと思います。</p>
今宿教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に質問やご意見も無いようですので、「議題6号 日野町遠距離通学補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について」を承認することとしてよろしいか。</p>

	<p>(異議なし)</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>それでは「議題6号 日野町遠距離通学補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について」を承認することとします。 次に「議題7号 平成30年度日野町教育方針について」を議題とします。各課から順次提案説明をお願いします。</p>
<p>野瀬参事 日永課長 高浪館長</p>	<p>(提案説明)</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>提案説明に対してご質問などございませんか。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>日野町教育行政指針と学校教育のことで、これを直してほしいとか、そういう意味ではなく、強化していくという方向で発言させていただきます。 これが日野町の教育の基本になって、各学校の校長先生なり教頭先生、あるいは園長先生がどれだけ理解をしてくださるかによって、大層な言い方ですけど、その学校の方針にも影響したりすると思います。 日野町教育行政指針の見開きのところで、私の思いを簡単に述べさせていただきます。指針ですから、言葉を言い換えますと、以前にも申し上げたかも知れませんが、ベクトルだと思うのです。日野町の教育が東の方を向いているのか、西の方を向いているのか、そういうあたりにつながってくるものだと私は思っています。実践は各校園がそのベクトルに沿って、創意工夫してやられていくと。 そういう中で基本目標、「日野の宝……」とあるわけですが、どこもコンパクトにきちんと書かれていて、いいなという感じを持っていますが、各学校の先生におりていくとすると、今の環境、子どもにとっての社会環境がどういうふうになっているのか。ここでも書かれておりますけれども、例えばスマホを代表するような、文字だけで打ってコミュニケーションをとる、言葉にせず伝える、あるいは二極化とか個別化とか、少子高齢化とか情報化とか、あるいは核家族化とか、どんどんこれから進んでいくと思います。それはすべてがよい状況に進むというわけではなくて、やはりここが課題となって格差社会が生まれてきて、ひいては子どもたちの生活でいうと、子どもの貧困問題が生まれてきております。 今この自治体でも、貧困問題に焦点を当てています。具体的には日野町ではどうなのかということも文字にしていく必要があるかと思っています。 また、今子どもたちが置かれている状況というのは、豊かにはなってきましたけれど、今の小学生が大人になるといろいろな職業がなくなると、私はそう思っています。ロボットが進んできますから。子どもの成長にとってみたら、現状の社会というのは決して、ある意味では十分に恵まれた環境ではない、そういう社会だろうと思っています。 そういう中で子どもたちが生きていくというために一番大事なところというと、私だけが言っているわけではなくて、子どもの生きる力の根本、根っこみたいなものは何だろうと。それは確かに文科省が「知徳体」と言っていますけれども、やはり自尊感情ではないのかなと思います。そのキーワードとしてはやはり学力保障とか仲間づくり、仲間づくりはこれま</p>

では言われていましたけれど、子ども同士の心のつながり、心の教育の仲間づくり、それが1つです。

そして最後は、日野町では活発に先進的に行われていて、いいなと思っておりますが、ふるさと意識、ふるさとに目をやる、ふるさとのモノを使ってモノづくりをすとか、そういうことは非常に子どもにとってふるさと意識の向上・醸成をしていくということで、価値あるものだと思っております。

次のところへ行きまして、この教育方針というのは、ある意味では枠組みだと思っております。重点項目みたいなものかなと思う中で、やはり大事にしなければならないのが8つくらいあると思っております。知徳体、共生とか、特別支援とか、位置づけでいうと少し離れたところのものが並列みたいな形になっているような印象があるわけですが、私が思っているのは、1番目には「学校と地域の連携」です。日野でも「きずな事業」がどんどん進んでいって、素晴らしいと思っております。地域との連携の学校づくり、これが1つだと思っております。

2つ目は、これから日野でももっと、私が知らないだけかもわかりませんが、「地元企業との連携」です。企業さんは教育にも非常に興味を持っておられます。そういう意味では地元企業との連携で何ができるかを考えてみるのもいいことかなと思っております。

そして、「学校教育の推進」、先ほど教育長が少し触れられましたが、いじめと児童生徒指導上の課題、そういうことがないのかなということも思いました。

それから、「人権教育」やはり学校教育での人権教育は非常に大切だと思っております。ある意味では義務教育修了の時のこども像を共有化していくために、人権教育はどの小学校でも中学校でも、一定の共有したものが要するためには必要だと、「人権教育の推進」というのは日頃から力を入れていく必要があると思っております。始終そればかりは無理でしょうから、計画的に各校園で取り組んでおられるということはいいことだと思っております。

4番目は「家庭学習の推進」、そのために支援をどういうふうにしていくのか。

それから5番目は、先ほど「生涯学習」の提案をされましたので、触れませんが、6番目としては「教職員の業務の改善あるいは資質向上」のためには、まず第一に先生が子どもと向き合う時間の確保が要ると。そのためには国も言っていますが、時間外労働の問題とかにも目を向けていきたい。

7番目は「安全・安心な教育環境」、8番目は「教育委員会の機能の充実」と言いませんか、そういうところを模索していきたいなと、そんなことを思っています。

そんな中で、とりわけこの学校教育の重点目標、まず①の確かな学力とありますけれども、学校教育法の第30条では、学力の3つの要素を規程しています。1つ目は基礎的・基本的な知識・技能。2つ目は思考力・判断力・表現力。3つ目は、これまでもよく言われていましたけれども、学習に取り組む態度、これは先ほど教育長も力を込めておっしゃっていましたけれども、学びに向かう力、日野町教育委員会でも学びに向かう力をどうやって進めていくのか、どういうふうにしていくのかということを経済委員会も提案しながら、各校園で文字化したものを出しながら、そして実践されていると、非常にいいことだなど、これはさらに追及をしていく

西村委員

と、さらに日野町の教育が充実していくと、そんなふうに思っております。

今、特に「知」のところだけでいうと、4の学校教育の重点施策（1）子どものたくましく生きる力を育むの①の知、確かな学力を育む。そして今プリントをいただきましたけれども、こういった学びに向かうプラン、ぜひともこれを現場レベルに合った形で、無理せず、目に見える形で実践をしていくと、本当にいいなと私は感じ取っております。

日野らしさが出ていると思いますし、賛同をしておりますので、ぜひこの部分、「学びに向かう向上プラン」、学力の中でこれが大事だと中教審も言っております。新しい学習指導要領でも取り上げておりますから、ぜひともこのところを深めていただけたらありがたいということで、長々としゃべりましたけれども、どうぞよろしく願いいたします。

日野町教育方針、平成30年度、一見しまして、いろいろな細かいところにも、例えば「養う」という言葉、ここは「培う」と書かないといけないのだなど、いろいろな細かい部分に力を注いで仕上げていただいたなという思いがいたします。そういう意味では、年々、充実してきたというか、昨年度と今年とはまたかなり違う部分で、そういう細かいところに配慮いただいて全体をまとめていただいたという感想を持ちました。

その中で、重ねてお尋ねするというか、ご回答いただく必要はありませんが、感じたことを申し述べたいと思います。

最初の基本方針のところは特に申し上げることはなくて、次の学校教育の（1）の①の「知」ですね。確かな学力、ここに確かな学力を育む中で、特に児童生徒が主体的に取り組む言語活動、「言語活動」ということを文字化していただいているということは、かなり大事な部分だなということで、意識的にここはそれを加えていただいたのだなと思っております。これは私も大変重要なことだなと思います。

めくっていただいて、次の「徳」のところの中に前回書かれておりました自尊感情というのが、文字としてはここには出てきておらないのですね。これは全体の配慮の中で、自尊感情は、大切なことであるのですが、文字としては出てきていないというところがあるなと思った次第でございます。

それから、幼児教育のところもご説明いただいたので、よくわかりました。幼児教育も、健やかな身体を育むという意味では、「生活」という言葉を入れていただいた。生活や遊びの中で体力づくりを進めるということを書いていただいたと思います。

そして、めくっていただくと、学校教育の重点施策で、子どものたくましく生きる力の知のところ、真ん中よりやや下に、「児童生徒の主体的な学習習慣の形成および英語力・国語力の向上を図るため……」とありますが、ここは「および」でつながっているのですけれども、英語力・国語力の向上を図るために実用英語とか漢字検定を実施するということはわかるのですが、児童生徒の主体的な学習習慣の形成というのは、それとは別の1つの課題であろうと思いますので、本来はこれについて少し突っ込んでいただいた方がありがたいなという思いがいたしました。

学校教育は以上でございまして、社会教育の部分では、重点目標の中に、ここはご説明をいただいたところですが、それでも、「課題」を「責務」に直されましたね。責務という言葉はずいぶん重い言葉でございまして、子どもが目標となる人間味豊かな大人社会を構築することが大きな責務であると、責務ということをかなり強調していただいて、ショックを感じました。



<p>今宿教育長</p>	<p>よいという意味で申し上げているわけでございますので、どうかひとつよろしくお願ひいたしたいと思ひます。以上です。ありがとうございました。</p>
<p>山田委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>特別支援教育ですけれども、重点施策として、いろいろ書かれているのですけれども、支援を要しない子が支援を要する子のことを学ぶ機会も必要かと思ひます。子どもたちのことなので、一緒に生活していくうえで、支援が必要な子の特性を理解するとか、こういうことをしたらいけないということを学んでいけると思ひますけれども、人権教育に入る分野なのか、この特別支援教育に入る分野なのか、あやふやですけれどもよろしくお願ひします。</p> <p>ここに書いてくれとか、そういうことではないのですが、指導するうえで頭に入れておいていただきたいと思ひます。以上です。</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>ありがとうございました。貴重なご意見をいただきました。その観点をもう少し膨らませたりできるようにしたいと思ひます。</p> <p>すべてを網羅はできませんが、頂戴しましたご意見はどれも重要な観点でありますので、そういったことも含めながら、何といたしても目の前の子どもたちを指導している先生方一人ひとりに届くということが大事ですので、いろいろな機会を活かして伝えていきたいと思ひしております。</p> <p>また、年度の途中でも、いろいろと課題などが見えてくることあると思ひますし、新たな方向性に気づくこともあると思ひますので、その都度考えながら、協議しながら進めていきたいと思ひしておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>今配っていただきましたペーパーですが、町内すべての先生に見てもらって、日野町はこういう取り組みをしていこうとしているのだと、先生方にも意識をしていただきたいと思ひます。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>野瀬参事</p>	<p>昨年度も全国学力学習状況調査の結果の分析とか、学ぶ力向上推進委員会の先生方のご意見をもとに、教育長に校長先生等招集いただき、お話をお聞きし、教育委員会でまとめさせてもらったものです。11月29日と日付が入っておりますように、昨年度後半の取り組みでして、これをもとに今回方針をつくっておりますが、今度基本方針をもとに学ぶ力向上プランを見直して、また整えていく。今年度版をつくっていくというように、相互の形で向上させていきたいと思ひしております。</p> <p>今いただきましたご意見をもとに、今日これをご承認いただきましたら見直す必要が多々出てまいりますので、また手を加えまして、整えて、今言っていたような形で各学校に提示していきたいと思ひしております。</p> <p>それから、西村委員様からご指摘いただきました学習習慣の定着というのは非常に大きな課題です。取り上げて、ちゃんと説明するというこの大切さを教えていただきました。今回、4の家庭教育力のところで、先ほど高浪館長がおっしゃってくださいましたが、「家庭教育のリーフレット」3つ目の子育てというのを生涯学習課の方で中心になってPTAの方とま</p>

<p>今宿教育長</p>	<p>とめていただきましたので、このパンフレットを活用しながら、家庭の学習習慣の定着を図っていきたいと思います。</p> <p>まだ予算が成立していませんので、今日はまだ申し上げるのを控えたのですけれども、予算が整いましたから、第2回日野町教育フォーラムも、できることでしたらそこに焦点をあてたテーマでやっていけたらなと考えております。これらのことで家庭との連携を図ったり、学習習慣の定着を図っていったりしたいと考えております。</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ほかにご質問やご意見もないようですので、議第7号、平成30年度日野町教育方針についてを承認することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>野瀬参事 宇田課長 日永課長 高浪館長</p>	<p>それでは「議題7号 平成30年度日野町教育方針について」を承認することとします。</p> <p>議事についてはこれで終了し、日程第6の今後の予定等に移ります。事務局から順次説明をお願いします。</p> <p>(各課から報告)</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>今後の予定等の説明が終わりましたが、ご質問などございませんか。無いようですので、次回の教育委員会の日程に移ります。</p>
<p>正木参事</p>	<p>次回の定例会の日程調整</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>それでは、今回は4月27日(金)午後3時から定例会を開催いたします。また、臨時会については、予ねて連絡させていただきましたとおり3月28日(水)0時30分からでお願いします。</p> <p>次に、日程7のその他に移ります。各課から連絡事項等ありましたらお願いします。</p>
<p>宇田課長</p>	<p>日野町幼児教育保育カリキュラムについて</p>
<p>野瀬参事</p>	<p>学校評価について</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>以上を持ちまして、3月定例会を終了します。</p>